

平成30年第10回 沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成30年10月23日（火） 午後3時30分～午後4時40分

2 場 所 沼津市役所水道部庁舎 3階会議室

3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名（土屋委員 川口委員）
- (3) 教育長職務代理者の指名
- (4) 教育長報告
- (5) 議案
なし
- (6) 協議
なし
- (7) 報告
 - 1) 平成30年9月市議会定例会一般質問等について
 - 2) 平成30年度全国学力・学習状況調査について
 - 3) 平成30年度イングリッシュアドベンチャー事業の実施報告について
 - 4) 第36回沼津市山口源新人賞について
 - 5) 日本大学文理学部と沼津市との連携協力に関する包括協定の締結について
- (8) その他

4 出席者等

教育長 服部裕美子、教育長職務代理者 土屋葉子、委員 三好勝晴、
委員 川口浩史、委員 重光純、教育次長 芹澤一男、教育指導監兼学校教育課長 大川淳、
教育企画課長 金子昭人、学校管理課長 佐藤高志、教職員研修センター所長 川口郁代、
教職員研修センター指導主事 栗原克弥、
スポーツ振興課長兼インターハイ推進室長兼勤労者体育センター所長併都市計画部香陵公園周辺整備室副参事 山岡慶博、
文化振興課長兼戸田造船郷土資料博物館長併都市計画部香陵公園周辺整備室副参事 原将史、
教育企画課指導主事 加納真、教育企画課主任 飯田彩美、教育企画課主任 長剣吾、
教育企画課事務員 松井沙弥香

5 会議内容

(1) 開会

服部教育長が、午後3時30分開会を宣言する。
服部教育長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。
傍聴人 0人

(2) 会議録署名人の指名

服部教育長より、会議録署名人に土屋委員、川口委員を指名する。

服部教育長より、土屋葉子委員が9月市議会定例会において沼津市教育委員として選任することに同意の議決があり、市長から任命を受けたことについて報告する。

服部教育長

土屋委員に改めて一言ご挨拶いただきたい。

土屋委員

3期務めるとは思っていなかったが、大変光栄なこととしてお受けした。身体に気を付けて任期を全うできるようにしたい。

服部教育長

顔ぶれはこれまでどおりであるが、今後も総合教育会議、よりよい教育環境の整備、社会教育の充実に向けて、教育委員会として検討を進めていきたい。よろしくお願ひしたい。

(3) 教育長職務代理者の指名

服部教育長より、教育長職務代理者について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に基づき、新たな教育長職務代理者として川口浩史委員を指名する。

服部教育長

川口委員、教育長職務代理者をよろしくお願ひする。一言お願ひしたい。

川口委員

僭越ながら教育長職務代理者を務めさせていただく。

服部教育長

よろしくお願ひする。

(4) 教育長報告

服部教育長

はじめに、私から9月・10月の活動報告をさせていただく。

9月12日から10月16日まで、35日間の会期で9月市議会が開かれた。

一般質問については、小中学校普通教室へのエアコン設置、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組、沼津市各種競技大会参加者賞賜金、学校給食について質問があった。のちほど、事務局より提出議案や一般質問について報告する。

10月3日(水)、第45回沼津市芸術祭が開幕し、開会式に出席した。11月17日までの約一カ月半の期間にわたり、プラサヴェルデや市民文化センターを中心に、17部門で展示や発表が行われる。今年は、45回目の節目の年に当たり、11月には45周年記念事業も開催される。市内の方だけでなく、市外、県外の方も芸術祭に出品されたり参加されたりということが増えているそうである。素晴らしい作品・発表を多くの方に見ていただきたいと願う。私もできる限り会場へ向かいたい。

10月9日(火)には、市役所にて第36回沼津市小中学生科学研究奨励賞表彰式が行われた。教育委員の皆様にもご列席いただき感謝する。今年度の応募は小学校69、中学校53の研究で、その中から選出された研究はいずれも身近な自然現象や理科の授業で学んだことなどから課題を見つけて継続して研究したりするなど粘り強く取り組んだものが多くあった。夏休みの自由研究をきっかけとして、さらに科学への関心を高める子どもたちがたくさんいる。この表彰は沼津の子どもたちの励みになっていて、自然や科学への興味・関心・研究心を高揚させる、

歴史ある事業となっていることを実感した。

10月17日（水）には、第69回沼津市中学校連合音楽会が開催され、午前・午後の部に分かれて市内公立中学校18校が合唱を発表した。各校の3年生、小規模校においては全校生徒による合唱が披露された。私も午前・午後とも参観したが、中学生の作る美しい響きに大変感動した。聴く態度も大変良く、講師からは歌う側と聴く側とが一体となった大変いい音楽会だったという講評であった。以前は声を出すこと、「大きな響きを」ということがテーマであったが、最近はその点はクリアできて美しい響きを作るにはどうしたらよいかということで専門的な講評をいただき、そのように子どもたちの合唱が進化していることをほめていただいた。学校によって人数はさまざまであるが、曲に思いを込めて、全身からそれが伝わってくるという感じがした。科学研究奨励賞も同じだが、この連合音楽会も第69回ということで合唱を聴き合う場が大変貴重な学習の場となって、長年続く中で文化が生み出され、それが受け継がれていくと感じた。沼津の大事な事業として続けていき、各学校で合唱を通して文化が広がっていくことを大事にしていきたいと思った。

学校訪問について、9月・10月は静岡教育事務所による学校訪問や、市教育委員会学校教育課による計画訪問に同行し、都合により長い時間の訪問といかなかったが、市内小中学校12校を訪問した。各校とも落ち着いて学習している様子を見てきた。今年進めている小中の連携について、グランドデザインを揃えていたり、重点を揃えて取り組んでいたりする様子などの説明を受け、子どもたちが主体的に学習する授業が増えていることを感じてきた。今後も各学校の現状の把握に努めたい。

そのほか、9月19日（水）の大平小の学校訪問は、防災・河川環境教育の公開授業研究会ということで、市長とともに参加した。国交省沼津河川国道事務所と連携して行っている教育ということで、これまで第三小学校がその指定を受けていたが、今年は大平小学校がモデル校として狩野川に学ぶ防災・河川環境教育に取り組んでいる。「狩野川と水害」や「川とわたしたちのくらし」ということで、専門的な立場の指導を受けながら、学校の先生が授業に取り入れ、子どもたちは狩野川台風が起きたときのことや河川が氾濫したときに大平地区がどうなるかといったことを当時の資料や災害の様子を聞きながら真剣に考えている様子が見られた。このように専門機関と連携した教育が広められていくということが大変必要なことと感じた。大平小の実践のよさをまた市内でも学んでいきたい。

それでは、教育長報告については、以上となるが、質問等はいかがか。

<議案>

服部教育長 日程（5）議案は、本日は案件なし。

<協議>

服部教育長 日程（6）協議事項は、本日は案件なし。

<報告>

服部教育長 それでは、日程（7）報告に入る。

- 1) 平成30年9月市議会定例会一般質問等について
(教育次長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

三好委員 エアコンの設置について、小学校→中学校の順に設置を進めるということは、検討した結果と思うがいかがか。

学校管理課長 愛知県の小学生が熱中症で亡くなったという事故もあり、子どもの体力面から考えて小学校を優先とした。

三好委員 次に、戸田造船郷土資料博物館が平成31年に開館50周年を迎えるということだが、要人を招致するといった質問があったがそういう向きを検討するとよいと思う。今の日本とロシアとの関係も考えると、戸田との歴史をロシアがどれだけ認識しているかわからないし、もし要人が来るなどしてそれを機に戸田のことが取り上げられたら、沼津にとってもマイナスではないと思う。

服部教育長 ただいまの件について、文化振興課長いかがか。

文化振興課長 一般質問でも大統領をサミットに合わせて招致など、非常に大きな話をされていたが、いずれにしても50周年の節目の記念事業として、そういったレベルの話であるかは別として、7月1日が開館日ということで夏の時期ということもあり、夏のイベントに併せて実施するなどの方法もある。また、今年は「日本におけるロシア年」ということで、ロシアの政治家の来訪などもあり、そういったことも参考にして検討していきたい。

三好委員 「きっかけ」であるので、ひとつのチャンスかと思う。

教育次長 議員の要望はあったが、毎年7月に「戸田港まつり」があり、そこでブチャーチンロードで法要を行うことから大使館の方に来ていただいている。

三好委員 もう一点。「ラブライブ！サンシャイン！！」、すごい人気である。仕事の関係で知り合った人が「ラブライブ！サンシャイン！！」で沼津のことを知ったそうで、その人は縁もゆかりもない沼津に住むために家を買ったと言っていた。自分はたまたま知り合ったが、そういう人は意外とたくさんいるのかもしれない。「ラブライブ！サンシャイン！！」の効果のすごさを改めて感じた。「ラブライブ！サンシャイン！！」ファンの力はすごい。

服部教育長 アニメの影響を受けて、沼津のよさを感じてリピートする方が増えているということも聞いている。

三好委員 内浦のほうへ、家を買うとまではいかななくても住むことにしたという話も聞いた。

服部教育長 ほかにご意見は。

川口委員 エアコンの整備について、地元や職場でも小中学校へのエアコンの整備は関心が高かった。エアコンは、どういったタイプのものを取り付けるのか。

学校管理課長 家庭用ではなく、業務用の天吊り型で5馬力ぐらいのものを取り付ける予定である。教室内に35人の子どもたちがいると、家庭用エアコンでは冷えない。10人程度の子どもたちであれば家庭用エアコンでも対応できるが、通常の教室では業務用エアコンでなければならない。

川口委員 今年の夏はとても暑かったことから周りでも関心が高く、「来年エアコンが間に合うのか」という声も聞こえる。目途はどうか。

学校管理課長 希望としては夏前に設置したいが、いろいろと制約がある。学校の協力を得ながら土日や放課後などに工事を行いたい、全国的な問題となったので、

- エアコンの機器本体があるかどうか、物があっても取り付けの人工がいるかどうか、それらを懸念している。これからいろいろな情報を得ながら、できるだけ早期に発注していきたい。設置できると約束はできないが、できる限りのことはしていきたい。
- 川口委員 いろいろとあると思うが、その状況を知らないで「何やっているんだ」ということになるので、情報発信をしていってもらいたい。
もう一点。「ラブライブ！サンシャイン！！」、自分は興味がないが、興味のない自分にも耳に入るくらい、すごく盛り上がっている。沼津を取り上げていただいてラッキーだったわけで、うまく観光と繋げて盛り上げていってもらえたらいいと思う。地域の方の理解は重要だし、大変なこともあると思うが、可能性を秘めているのでぜひにと思う。
- 三好委員 エアコンの整備についてだが、すべての教室に同型を取り付けるか。
学校管理課長 学校の教室はどこもだいたい大きさは同程度なので、普通教室にはエアコン1台を設置する。特別教室は普通教室よりも広いので、エアコンを2台設置する。
- 三好委員 物が揃うかという調達の問題はあると思う。同型を一斉に揃えるのは大変だし、だからといって付け焼刃で設置して長く持たないのでは困る。
学校管理課長 設計を組んでから発注をする。エアコン機器のメーカーは何社もあり、電気の容量内であれば同等品で可ということで考えている。
- 三好委員 家庭用であれば、業者に頼めば家に来て、あっという間に取り付けていく。学校のエアコンが、設計をしてからでないと発注できないのはなぜか。
学校管理課長 エアコンを設置していくとなると電気を多く使うことになるので、受変電設備を改良しなければならない。これに対応するには、専門的な知識のある設計業者でなければならない。家庭用であればたしかに壁に穴をあけてホースを繋いでいけばよいが、学校は配線等が複雑で、これは沼津市だけでなくほかの自治体も同じことであり、壁に穴をあけて取り付ければ完成というわけにはいかない。室外機も1機に1個となると室外機だらけになってしまうので、ある程度まとめるよう計算していくと専門的な知識が必要となる。
- 三好委員 工事も大きな音が出るようであると昼間授業中にはできないが、そこまででなければ授業中にできないのかなと思うこともある。とにかく工事を早くということであれば。
- 服部教育長 市民の皆さんの関心の高いエアコン設置であるので、今のような意見をいろいろな場でお持ちである。今後の計画はできるだけ情報開示しながら進めていくことが大事と思う。ほかに何かあるか。
ないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

2) 平成30年度全国学力・学習状況調査について

(教職員研修センター所長 資料に基づき説明)

- 服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。
重光委員 「自分にはよいところがあると思う」と回答した子どもが増えたことは大変良いことだと思う。いかに子どもが自分の価値を自分で認めるか、認めても

らえるかというのを親としても苦心しているところであるので、学校でも同じ方針でいてもらえていることをありがたく思う。

また、ゲームやインターネットをしている時間が長くなっているのは仕方ないところがある。ゲームもインターネットも目の前に在るわけで、自分のことを思い起こすとゲーム機が流行り始めたところであってよく遊んでいた。ただ、インターネットの場合は情報が無尽蔵であり、どんどん新しい情報が出て来て、新たなトラブルのもとになったりもする。ゲームやインターネットを使うというのはやむを得ないことで、それをむやみに禁止するのではなく、大人も知識を得てうまい付き合い方を子どもへ教えていかないとならないのでは。在るものを禁止するのではなく、いかにコントロールするかが大事ではないかと考える。

三好委員

ゲームやインターネットは、面白いから、楽しいから使う。それは大人も同じ。「放課後ゲームやインターネットをしている時間が多い」と答えたその数字を下げる必要はなくて、その使い方、付き合い方に重点を置いて指導していく。遊ぶのは仕方ない。面白いから。

学力・学習状況調査については、結果に一喜一憂しないで、分析によってどこが足りないところなのかと指導の道筋ができる、そうやってうまく利用してほしい。

教職員研修センター所長

おっしゃるように、インターネット等を使って情報を取るといこと、受け身でなく自ら調べたいことを調べるということも必要である。家庭で過ごす時間も長いので、今の結果を、家庭用のリーフレットを作成中であるので、インターネットやスマホの使い方については自分で時間を決めて有効に活用し、就寝時刻が遅くなったり朝食を摂らなかつたり影響が出ないよう過ごしてほしいことを伝えていく。

服部教育長

毎年調査している学力・学習状況調査であるので、経年の様子をつかめる貴重な機会とし、課題についてきちんと分析をしながら役立てて、市内全校で取り組んでいきたい。

ほかにはいかがか。

ないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

3) 平成 30 年度イングリッシュアドベンチャー事業の実施報告について

(学校教育課長 資料に基づき説明)

服部教育長

説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

重光委員

自分の子も民間で行った同様の事業に参加し2泊3日だったが、1泊2日で安価で参加でき、子どもにとってもモチベーションアップに大変よい事業と思う。今後は小学校3-4年まで範囲を広げ、事業の継続、拡大を望みたい。競争率が高くなってきている。今後も充実して欲しい。

服部教育長

市立高・中等部では、カラマズーへの交流事業も行っており、その報告を9月に受けた。そのとき、12日間英語ばかりで何とか自分から話そうとしながら、大変いい研修となったと聞いた。その感想の中で「研修後、ALTとも

っと自分から話したい」と語っていた。きっとこの事業に参加した児童もA
L Tと積極的に話すようになってたり英語への接し方が変わってきたりするの
ではと思う。沼津ならではの事業として大切にしていきたい。

三好委員 人数は、宿泊施設の収容人数から決まってくるのか。応募した児童がみんな
参加できたらよいのと思う。

学校教育課長 ゆめとびら舟山の施設の収容人数による。

三好委員 もっと増やせるとよいのと思う。

服部教育長 ほかにいかがか。

ないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

4) 第36回沼津市山口源新人賞の決定について

(文化振興課長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。
大変素晴らしい作品で、透明感があり、前に立つと引き込まれるかんじがし
た。受賞者も大変光栄なことで喜んでいただいた。
ご意見ないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

5) 日本大学文理学部と沼津市との連携協力に関する包括協定の締結について

(教育企画課長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

重光委員 日本大学文理学部はどこにあるか。

教育企画課長 東京都世田谷区桜上水にある。

服部教育長 内容については、これから検討をしていくそうである。

三好委員 市が学校と協定を結ぶということはよくあることなのか。

教育企画課長 あまり包括的な協定は例がないが、市長部局において締結したものとして、
沼津工業高等専門学校と平成23年に包括協定を締結したと聞いている。また、
静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、沼津工業高等
専門学校、電気通信大学、東海大学、愛知学院大学と、「静岡県における『地
(知)の拠点大学による地方創生事業(COC+)』に関する連携協定」、若年層
人口定着の促進、雇用創出などを目的とした協定であるが、平成28年に締結
したと聞いている。今回は、日本大学からお話をいただいて受け入れ、締結
という運びとなった。

三好委員 何か新しいことが生まれたら面白いと思う。

服部教育長 ほかにいかがか。

ないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

<その他>

服部教育長 その他、何かあるか。

ないようなので、以上をもって本日の定例会を終了する。

午後4時40分 閉会

